

〔萬葉集三〕歌 犬旅歌一首并短歌

海若者、靈寸物香、淡路島中爾立置而白浪乎、伊與爾回之、座待月、開乃門從者、暮去者、鹽乎令滿、明去者、鹽乎令干、鹽左爲能、浪乎恐美、淡路島磯隱居而何時鴨此夜乃將明跡待從爾寢乃不勝宿者、瀧上乃淺野之雉、開去歲立動良之、率兒等、安倍而撈出牟爾波母之頭氣師、

## 反歌

島傳敏馬乃埼乎、許藝廻者、日本戀久、鶴左波爾鳴、

右歌、若宮年魚麿誦之、但未審作者、

〔保元物語三〕新院御遷幸事并重仁親王御事

彼ハ淡路國ト聞召バ、○崇大炊廢帝仁淳ノ被遷テ、思ニ不絶無幾程失セ給ケン島ニコソト、昔ハ餘所ニ聞召シカ共、今ハ御身ノ上ニ思召コソ哀ナレ、

〔新葉和歌集十七〕正平廿年十二月、うへのをのこども題をさぐりて、七百首の歌つかうまつりけ

る時、名所島を、

心あてにそことはしるし淡路島まだ見ぬ人は雲かとや見む

眺望春といふ事を

朝日影さすか浪間にあらはれてかすめばきゆる淡路島山

後村上院御製

## 阿波國

阿波國ハ、アハノクニト云フ、南海道ニ在リ、東ハ海ニ面シ、西ハ伊豫、西南ハ土佐北ハ讃岐ニ接ス、東西凡ソ十八里餘、南北凡ソ十六里餘、此國ハ古ヘ國府ヲ名東郡ニ置キ、板野、阿波、美馬、